

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

方言鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

音声

日本語概論

2018年10月9日
2019年3月10日 改訂

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

ガ行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

おと

音の分類 (『図解日本語』13頁表2-1)

音声 (言語音、^{おん}音) 人間が意志や感情、情報などを伝えるために、音声器官を使って意識的に出す音

単音 (分節音) 音声の最小単位

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

ガ行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

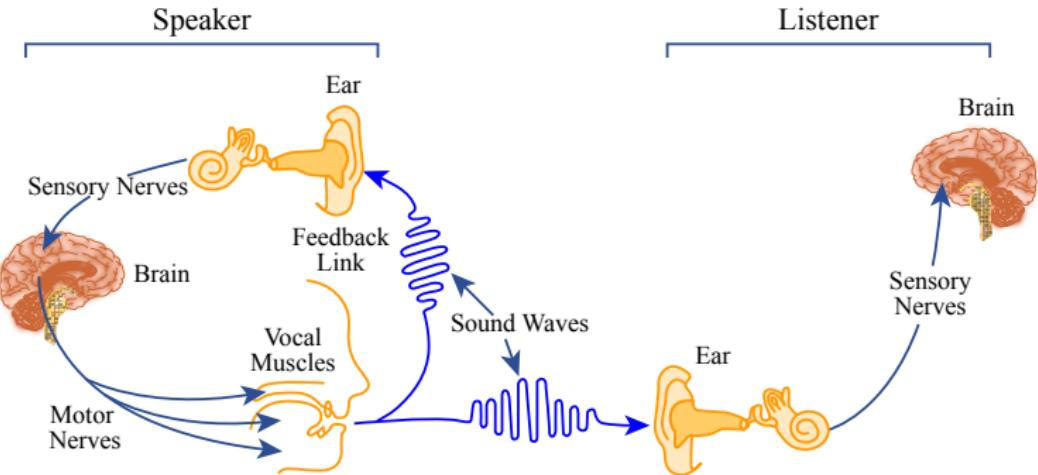


図: The Speech Chain¹

調音音声学 音声を発する時に音声器官をどう動かすかの研究

音響音声学 発せられた音声の物理的研究

聴覚音声学 人間が音声をどう聞き取るかという知覚的研究

¹Edward Flemming (Fall 2015) 24.915 Linguistic Phonetics, MIT OpenCourseWare

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

ガ行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

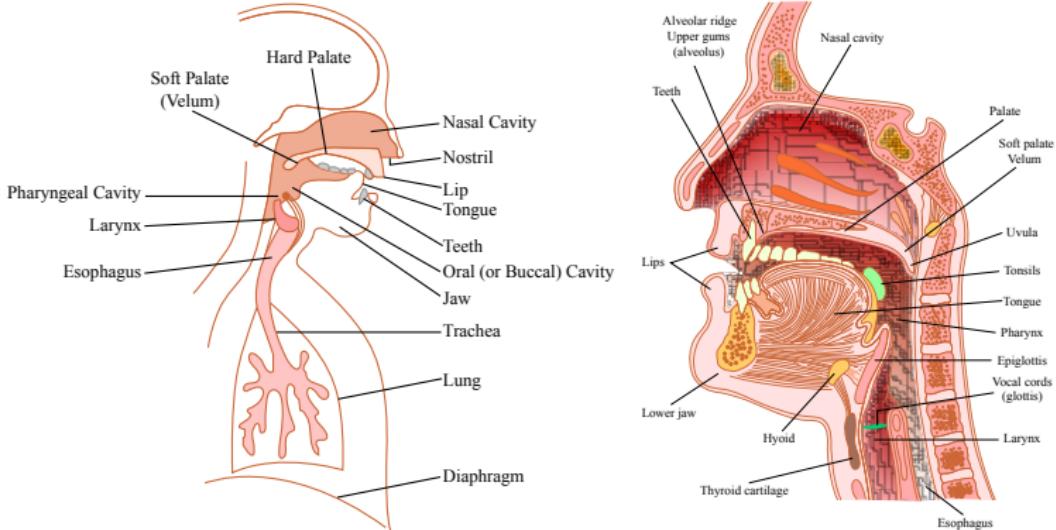
音声変化

音便

連濁

連声

参考文献



図：音声器官²

音声の生成 気流（肺）→発声（声帯）→調音（口腔、鼻腔）

²Edward Flemming (Fall 2015) 24.915 Linguistic Phonetics, MIT OpenCourseWare

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

方言鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

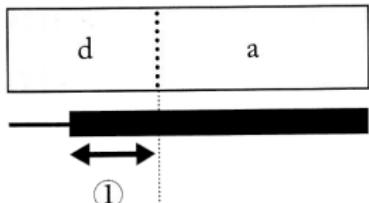
有声音 声帯の振動を伴う
無声音 声帯の振動を伴わない

清音

濁音 ` (濁点)

半濁音 ° (半濁点)

有声音
ゆうせいおん



日本語

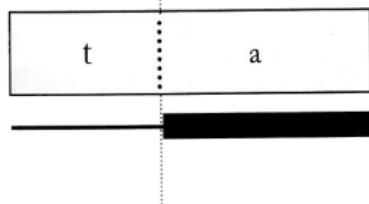
[da] } /da/ 「ダ」

<日本語での区別の境界>
きょうかい

中国語・韓国語
かんこく

/da/ 「搭、だ」

無声無氣音
むせいむきおん

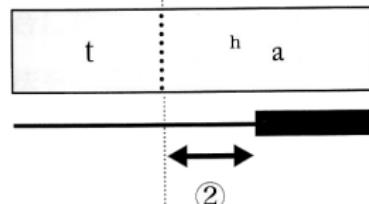


[ta]

/ta/ 「タ」

<中国・韓国語での区別の境界>
かんこく くべつ きょうかい

無声有氣音
むせいゆうきおん



[tʰa]

/ta/ 「他、タ」

図：有声音と無声音（国際交流基金『音声を教える』49頁）

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

方言鼻音

拍と音節

長音

二重母音

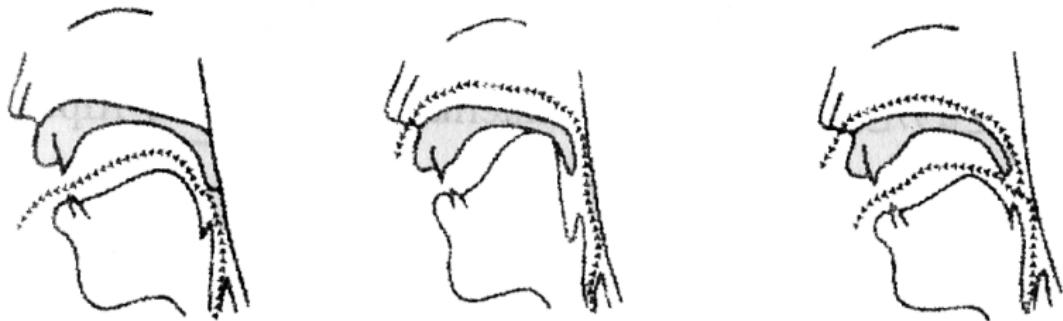
音声変化

音便

連濁

連声

参考文献



図：呼気の通り道（蔡全勝『日語語音学』11頁）

口音 口腔から出る呼気

鼻音 鼻腔から出る呼気

鼻母音 口腔と鼻腔から出る呼気

母音 声道内の閉鎖や極端な狭めを受けない

子音 声道内の閉鎖や極端な狭めによって呼気の出方が妨害を受ける

音声学

調音音声学

氣流

发声

調音

子音音素

擦音音素

虫歯の無化

力行鼻音

拍と音節

最音

二重母音

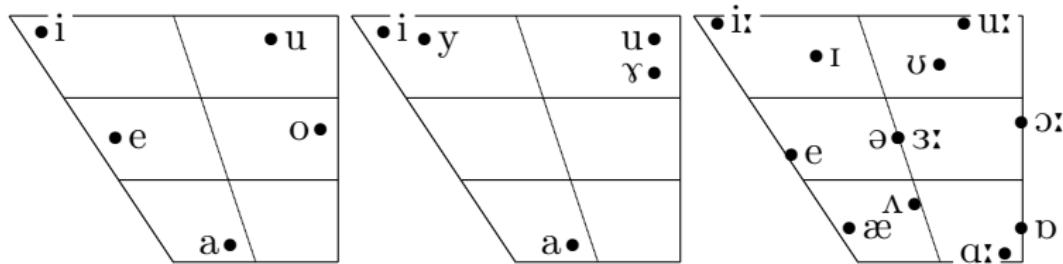
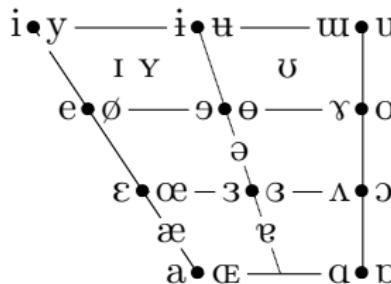
音声變化

七

30

清言

参考文献



図：日本語³、中国語⁴、英語⁵の母音

³Hideo Okada (1991) Japanese, JIPA

⁴Wai-Sum Lee, Eric Zee (2003) Standard Chinese (Beijing). JIPA

⁵Peter Roach (2004) British English: Received Pronunciation, JIPA

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

方行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

THE INTERNATIONAL PHONETIC ALPHABET (revised to 2015)

CONSONANTS (PULMONIC)

© 2015 IPA

	Bilabial	Labiodental	Dental	Alveolar	Postalveolar	Retroflex	Palatal	Velar	Uvular	Pharyngeal	Glottal
Plosive	p b			t d		t̪ d̪	c j	k g	q G		? ʔ
Nasal	m	n̪j		n		n̪l	n̪l̪	n̪j	N		
Trill	B			r̪					R		
Tap or Flap		v̪		f̪		t̪					
Fricative	ɸ β	f v	θ ð	s z	ʃ ʒ	s̪ z̪	ç j	x y	χ ʁ	h f̪	
Lateral fricative				ɬ ɭ							
Approximant		v̪		i̪		ɬ̪	j	ɿ̪			
Lateral approximant				l̪		ɬ̪	ɻ̪	ɿ̪			

Symbols to the right in a cell are voiced, to the left are voiceless. Shaded areas denote articulations judged impossible.

調音点（調音の位置）調音に関係する音声器官

調音法 声道で調音点がどのように呼気の流出を阻んでいるのかという調音の方法

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

方行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

	両唇	歯茎	歯茎 硬口蓋	硬 口蓋	軟 口蓋	口 蓋垂	声門
破裂	p b	t d			k g		
鼻	m	n	n/ ɲ_+		ŋ	N	
弾き		f					
摩擦	ɸ	s z	ç ʐ	ç			h
接近				j	w		
破擦		ts dz	tç ðz				

表: 日本語の子音

	両唇	歯茎	軟口蓋
破裂	p ^j b ^j	(t ^j d ^j)	k ^j g ^j
鼻	m ^j		ŋ ^j
弾き			f ^j
摩擦	(ɸ ^j)		

表: 日本語の口蓋化した子音

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

ガ行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

	歯茎	後部歯茎	そり舌	歯茎硬口蓋
IPA	s	ʃ	ʂ	ç
日本語	サ/ス/セ/ソ			シ
中国語	s [ʂ]		sh	x
英語	s	sh		
ロシア語	c		ш	щ [ç:]

表: サ行子音

	両唇	唇歯	硬口蓋	軟口蓋	声門
IPA	ɸ	f	ç	x	h
日本語	フ		ヒ		ハ/ヘ/ホ
中国語		f		h	
英語		f			h
ロシア語		ɸ		x	

表: ハ行子音

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

ガ行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

	弾き	震え	側面	接近
IPA	f	r	l	x
日本語	ラ/リ/ル/レ/ロ			
中国語				
英語				r
ロシア語		p	л	

表: ラ行子音

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

ガ行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

音素 音韻論で、ある特定の言語において、意味が区別（弁別）される最小の音声単位

異音 ある音素の具体的表れとしての音

母音音素 /a//i//u//e//o/

半母音音素 /j//w/

子音音素 /k//g//ŋ//s//z//t//c//d//n//h//b//p//m//r/

特殊音素 /N//Q//R/(/J/)

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

方行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

	/k/	/g/	/ŋ/	/s/	/z/	/t/	/c/
+ /a/	[k]	[g]	[ŋ]	[s]	[dz]/[z]	[t]	
+ /i/	[k ^j]	[g ^j]	[ŋ ^j]	[ç]	[dʒ]/[z]		[tç]
+ /u/	[k]	[g]	[ŋ]	[s]	[dʒ]/[z]		[ts]
+ /e/	[k]	[g]	[ŋ]	[s]	[dʒ]/[z]	[t]	
+ /o/	[k]	[g]	[ŋ]	[s]	[dʒ]/[z]	[t]	

	/d/	/n/	/h/	/b/	/p/	/m/	/r/
+ /a/	[d]	[n]	[h]	[b]	[p]	[m]	[f]
+ /i/		[n ^b]	[ç]	[b ^j]	[p ^j]	[m ^j]	[f ^j]
+ /u/		[n]	[ɸ]	[b]	[p]	[m]	[f]
+ /e/	[d]	[n]	[h]	[b]	[p]	[m]	[f]
+ /o/	[d]	[n]	[h]	[b]	[p]	[m]	[f]

		/N/
	+ /b//p//m/	[m]
	+ /t//c//d//n//r/	[n]
	+ /zi//ci//ni/	[n]
	+ /k//g//ŋ/	[ŋ]
	語末	[N]
	+ /a//i//u//e//o//j//w//s//h/	[~]

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

ガ行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

		/N/
	+ /bi//pi//mi/	[m ^j]
	+ /ri/	[n ^j]
	+ /ki//gi//ŋi/	[ŋ ^j]

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

ガ行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

	/N/
+ 両唇音	[m]
+ 齒茎音	[n]
+ 齒茎硬口蓋音	[n̥]
+ 軟口蓋音	[ŋ]
語末	[N]
+ 母音/半母音/摩擦音	[~]

	/N/
+ 口蓋化した両唇音	[m ^j]
+ 口蓋化した歯茎音	[n ^j]
+ 口蓋化した軟口蓋音	[ŋ ^j]

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

が行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

決まり 1 キ/ク/シ/ス/チ/ツ/ヒ/フ/ピ/プ/シュなどの拍
が、カ/サ/タ/ハ/パなどの各行の拍の直前にきたとき

例 キク² (菊)、タシカメル⁴ (確かめる)、ガク
シヤ⁰ (学者)

例外 1 無声化する拍のアクセントが高く、次の拍が低いとき

例 シソン¹ (子孫)、ハチホン² (8本)

例外 2 無声化する拍が、2つの続いたときの、一方の拍

例 キキカタ⁰ (聞き方)、タキツケル⁴ (焚き付ける)、レキシテキ⁰ (歴史的)

例外 3 無声化する拍が3つ以上続くときの、まん中の拍

例 キキステル⁴ (聞き捨てる)、キキツケル⁴ (聞き付ける)

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

方行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

決まり 2 キ/ク/シ/ス/チ/ツ/ヒ/フ/ピ/プ/シュなどの拍が、息の切れ目の直前にきて、その拍のアクセントが低いとき

例 アキ¹（秋）、カラス¹（鳥）、アリマス³（有ります）

例外 決まり 2 で無声化する拍の次に、有声子音をもつ拍がくるとき

例 アキガ¹（秋が）、カラスワ¹（鳥は）、ソーデスネ¹（そうですね）

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

方言鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

傾向 1 アクセントが低い語頭のカ/コの拍で、次に、同音の高い拍がくるとき

例 カカシ⁰（案山子）、ココロ²（心）

傾向 2 アクセントが低い語頭のハ/ホの次に、母音の/a/または/o/を含む拍がくるとき

例 ホコリ⁰（埃）、ハカ²（墓）

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

ガ行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

傾向 3 無声化する拍と、アクセントの切れ目が重なったとき

場合 1 そのまま無声化する

例 イツク²（居つく）、ガラスキ³（ガラス器）、
シヨキカン²（書記官）

場合 2 アクセントの切れ目が、後にずれる

例 ツク^{1→2}（付く）、キテ^{1→2}（来て）、シキ^{1→2}
(四季)

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

ガ行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

傾向 4 無声化する拍の後に、サ行音やハ行音、そして
シャ/シュ/ショなどの拍がくるとき

例 スサル²（退る）、スシ²（鮓）、クハイ⁰（苦杯）、
クフー⁰（工夫）、シュショク⁰（主食）、シ
シュー⁰（詩集）

傾向 5 サ行音、ハ行音が次にきて、意味の切れ目がある
とき

例 キヨーアクハンニン⁵（凶悪犯人）、ボーエキス
イジュン⁵（貿易水準）

傾向 6 語末

例 スパイク²（spike）、スペラカシ⁰（すべらかし）、
タライマワシ⁴（たらい回し）

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

ガ行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

決まり 1 語頭のガ行音は鼻音にならず、破裂音の/g/で発音される

例 ガイコク⁰（外国）、ギリ²（義理）、グアイ⁰（具合）、ゲンキ¹（元気）、ゴハン¹（ご飯）

例外 1 助詞の「が」は、単独でも鼻音の/ŋ/で発音される

例外 2 「位」「如し」なども、単独で鼻音の/ŋ/で発音されることがある

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

ガ行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

決まり 2 語頭以外のガ行音は、原則として、鼻音の /ŋ/ で発音される

例 アガ^る⁰ (上がる)、カギ^キ² (鍵)、ヤグラ^⁰ (櫛)、ニケル^² (逃げる)、アゴ^² (顎)

例外 (略)

/V/ /a//i//u//e//o/

/S/ /j//w/

/C/ /k//g//ŋ//s//z//t//c//d//n//h//b//p//m//r/

/M/ /N//Q//R/(/J/)

拍/モーラ V、 CV、 SV、 CSV、 M

軽音節 V、 CV、 SV、 CSV

重音節 VM、 CVM、 SVM、 CSVM

拍による区切り	音節による区切り
お・ば・さ・ん	お・ば・さん
お・ば・あ・さ・ん	お・ばあ・さん
さ・か	さ・か
さ・っ・か	さっ・か
か・ら	か・ら
か・ら・い	か・らい

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

が行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

/V/ /a//i//u//e//o/

/S/ /j//w/

/C/ /k//g//ŋ//s//z//t//c//d//n//h//b//p//m//r/

/M/ /N//Q//R/(/J/)

拍/モーラ V、 CV、 SV、 CSV、 M

軽音節 V、 CV、 SV、 CSV

重音節 VM、 CVM、 SVM、 CSVM

超重音節 VMM、 CVMM、 SVMM、 CSVMM

例 パターン、 サイン、 はいった、 ロンドンッこ

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

ガ行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

方言鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

「一」：普通に「長音」と呼ばれるが、長音とは、「コー」とか「ソー」とかいう2拍分を言う術語で、ここは、「コー」「ソー」から「コ」「ソ」を除いた、「一」で表される部分だけを言うので、「引く音」と呼ぶ方が適当である。直前の母音を1拍分引いて発するので、「カ」「サ」「タ」……のあとでは [a] の音が、「キ」「シ」「チ」……の拍のあとでは [i] の音がひびく。したがって、里親「サトオヤ」と砂糖屋「サトーヤ」とは、ほとんど同じ音になってしまふが、理論的にはちがうはずである。呼応「コオー」と好惡「コーボ」のような例は、誰でも言い分けている。

(金田一春彦)

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

ガ行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

共通語では、漢字音「英」エイ [ei] などをエー [e:] のように長母音に発音する。例えば次の例のとおり。

エーゴ（英語）・ケーサツ（警察）・センセー（先生）・テージ（定時）・ヘーワ（平和）・メーモク（名目）・レーカイ（例会）

ただし、特にていねいに発音するときはエイゴ・ケイサツ・センセイのようにエイにもなる。

(平山輝男)

規則型	変化型	規則型	変化型
通 (トール)	トール	通 (トース)	トース

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

ガ行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

	規則型	変化型
放送局	(ホーソーキョク)	ホーソーキョク
編集局	(ヘンシューキョク)	ヘンシューキョク
飛行機	(ヒコーキ)	ヒコーキ
北九州市	(キタキュッシューシ)	キタキュッシューシ
労働者	(ロードーシャ)	ロードーシャ
講習会	(コーチューカイ)	コーチューカイ
労働省	(ロードーショー)	ロードーショー
愛校心	(アイコーション)	アイコーション

	規則型	変化型
造幣局	(ゾーヘイキョク)	ゾーヘイキョク
厚生省	(コーセイショー)	コーセイショー

	規則型	変化型	規則型	変化型
返	(カエル)	カエル	返	(カエス)

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

ガ行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

	規則型	変化型	規則型	変化型
恋	(コイ)	コイ	狂	(クルイ)
醉	ヨイ	ヨイ	祝	(イワイ)
思	(オモイ)	オモイ	境	(サカイ)
匂	(ニオイ)	ニオイ	覚	オボエ
願	(ネガイ)	ネガイ	答	コタエ
雇	(ヤトイ)	ヤトイ	備	ソナエ
迷	マヨイ	マヨイ		

	規則型	変化型
脱水機	(ダッスイキ)	ダッスイキ
仙台市	(センダイシ)	センダイシ
仲介者	(チューκアイシャ)	チューκアイシャ
おさらい会	(オサライカイ)	オサライカイ
依頼心	(イライシン)	イライシン

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

方行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

イ音便

(五段活用動詞)	～きた	～いた
(五段活用動詞)	～ぎた	～いだ
(敬語動詞)	なさります	なさいます
(敬語動詞)	いらっしゃります	いらっしゃいます
(敬語動詞)	くださります	くださいます
(敬語動詞)	おっしゃります	おっしゃいます
(敬語動詞)	ござります	ございます
(形容詞)	～き	～い
月立ち→一日	つきたち	ついたち

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

方行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

撥音便/はねる音便

(五段活用動詞)	～にた	～んだ
(五段活用動詞)	～びた	～んだ
(五段活用動詞)	～みた	～んだ
盛りに→盛んに	さかりに	さかんに
髪挿し→簪	かみさし	かんざし
商人	あきびと	あきんど

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

方行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

促音便

(五段活用動詞)	～ちた	～った
(五段活用動詞)	～りた	～った
(五段活用動詞)	～いた	～った
行きた→行った	いきた	いった
(形容詞)	～かりたり	～かった
たふとし→尊い	たふとし	たっとい
追い掛ける→追っ掛ける	おいかける	おっかける
吹き飛ばす→吹っ飛ばす	ふきとばす	ふっとばす
引き込む→引っ込む	ひきこむ	ひっこむ

参考文献

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

方行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

ウ音便

(形容詞)	～くございます	～うございます
(形容詞)	～く存じます	～う存じます
格子	かくし	こうし
妹	いもひと	いもうと
白人→素人	しろひと	しろうと

時々	ときどき
人々	ひとびと
	それぞれ
所々	ところどころ
夜桜	よざくら
青空	あおぞら
紙袋	かみぶくろ
麦畑	むぎばたけ
興味深い	きょうみぶかい
心細い	こころぼそい
分かち書き	わかちがき
講ずる	こうずる

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

方言鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

方行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

仁和寺	にんわじ→にんじ
因縁	いんえん→いんねん
安穏	あんおん→あんのん
反応	はんおう→はんのう
天皇	てんおう→てんのう
三位一体	さんみいittai→さんみいittai

日本語概論 音声

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

方言鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

雨傘	あまがさ
酒屋	さかや
金具	かなぐ
白雪	しらゆき
春雨	はるさめ
新しい	あたらしい
山茶花	さんさか [?] →ざんか
河原	かわはら→かわら

音声学

調音音声学

気流

発声

調音

音韻論

子音音素

撥音音素

母音の無声化

方行鼻音

拍と音節

長音

二重母音

音声変化

音便

連濁

連声

参考文献

- 蔡全勝 (2007) 日語語音学, 大連出版社
- 楊詘人 (2001) 日語語音学, 華南理工大学出版社
- 楊詘人, 邱忠 (2007) 日語語音語調, 広東世界図書出版公司
- 朱春躍 (2007) 語音詳解, 外語教育与研究出版社
- NHK 放送文化研究所 (2004) NHK 日語発聲音調辞典, 大連理工大学出版社
- 国際交流基金 (2009) 音声を教える, ひつじ書房
- 皮細庚 (1997) 日語概説, 上海外語教育出版社
- 沖森卓也, 木村義之, 陳力衛, 山本真吾 (2006) 図解日本語, 三省堂
- 望月八十吉 (1980) 日語和漢語的音節比較, 国外語言学